



金沢三花街完全制覇 幫間と巡る加賀の錦秋

加賀 百万石の城下町として栄えた歴史と伝統が色濃く残る街、金沢。江戸時代には前田家の統治のもと文化や芸術が発展し今もその影響が随所に感じられます。日本三名園のひとつつ兼六園や近江市場の朝市、加賀友禅会館、SANAによる金沢二十一世紀美術館など、誰もが知る名所もあり、新幹線も開通し海外からの人気も高まるこの地には、今では本当に多くの人々が訪れています。けれどそんな多くの旅人たちも簡単には入れない秘境？があるのです。ひがし・にし・主計町（かずえまち）の三花街であります。長い歴史を重ねる古都金沢の花街。一度は訪ねてみたいと思いませんか？けれど一見の旅客がこの**金沢の奥座敷**まで辿り着くのは、いささか難しいことです。そこで、和塾がこの**秘密の花園**をみなさまにご体感いただくと思います。

幫間・太鼓持ちの**櫻川七好師匠**を案内役に金沢の三花街を巡ります。ひとつでも貴重な金沢花柳界を**三街すべて制覇**する贅沢でまたとない機会。ひがし茶屋街は希少な茶屋様式の町屋を多く残す重要伝統的建造物群保存地区。金沢生まれの作家井上雪の小説『廊のおんな』では物語の舞台になっっています。にし茶屋街は加賀藩十二代藩主前田斉広の公許を得て誕生。現在でも料亭や芸妓置屋が立ち並び、藩政期の独特の雰囲気味わうことができる街です。主計町は加賀藩士・富田主計（とだかずえ）の屋敷があったことから名づけられた街。茶屋町としては明治から昭和戦前期にかけて栄えています。この三花街を順に巡りながら、各街の芸妓の唄や踊り、おもてなしを体験いただければ、あなたも金沢の奥座敷敷を知る**数寄者の仲間入り**。お誘い合わせでお願いいたします。

- 日時 令和7年11月8日（土）13時00分より～20時45分頃閉会予定
- 会場 ひがし茶屋街〔金沢市東山〕～主計町茶屋街〔金沢市主計町〕～にし茶屋街〔金沢市野町〕
- 次第 13時00分・ひがし茶屋街料亭に集合～案内人挨拶・ご昼食とひがし茶屋街芸妓とお座敷遊び体験～主計町茶屋街にて芸妓の案内で見番訪問とお茶屋で休憩～にし茶屋街へ移動～にし茶屋街お茶屋での夕食と芸妓・幫間による余興～20時45分頃・金沢駅にて解散
- 定員 20名〔参加定員は変更になる場合があります。最少催行人数10名〕
- 参加費 150,000円〔おひとりさま・ご昼食/ご夕食/三花街芸妓のおもてなし/櫻川七好師匠ご案内/専用車/お土産〕
※昼食時・夕食時のお飲み物代は個別精算にて別途頂戴いたします。